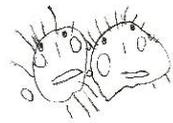


いっぽ だより



H28年度 No.9

はじめのいっぽ弥生
平成29年3月2日

軒下のつららがゆるんで、ポトン、ポトンと落ちる様子を、「音楽みたいだね」と言いながらじっとながめる子、お散歩のときに「風が春のにおいだね」と、はずむように歩く子。それぞれの感性をフル活用して、春の訪れを感じている今日この頃です。リスも、活発に庭へ遊びに来てくれています。



さて、いっぽへ通い始めたころに小学校6年生だったお友だちが、今年の春でとうとう高校生になります。受験勉強に面接練習…。ドキドキ感が伝わり、スタッフとしては温かく見守ることしかできず、もどかしい数か月でしたが、先日「合格したよ！」と明るい声で電話がかかってきました。「バンザーイ!」「おめでとう!」喜びと同時に、涙があふれてきました。

この子たちが3年後に高校を卒業するころには、いっぽも、開所8年目になります。数年後には事業所としても「一歩」前進し、私たち自身も成長しなければ…と気持ちも新たに、日々を過ごしております。

○個別面談について○

皆様のご協力を頂き、平成28年度の個別面談もほぼ終了いたしました。ご協力ありがとうございます。

なお、平成29年度も個別面談期間として、

- ・6月上旬～7月下旬
- ・1月上旬～2月下旬

を予定しております。

※困りごとや悩み相談がありましたら、随時対応させていただきますので、お気軽にご連絡ください。

○今後の予定○

3月11日(土)	スタッフ研修(療育は15時までとさせていただきます)
3月13日(月)	スタッフ会議 10:00~12:00
3月20日(月)	春分の日(祝日)
3月22日(水)	親子でいっぽ(午前幼児対象) 10:00~12:30
3月24日(金)	修了式、卒業式
3月25日(土)	春休みスタート

○みそ造り、完了!○



2月4日（土）、今年もみそ造りをしました。
何日も前から麴や塩、大豆を発注して洗っておき、前日には部屋をすっきり片付けて広くして、すりこぎ、すりばちをたくさん用意するなど、大忙し。

当日までに必要な準備はたくさんあるけれど、それでもワクワク喜んでやると、心が躍るように楽しい！

大豆を洗っているときは、お豆同士が触れ合っていてケラケラ笑っているように聞こえるし、煮ているときは、部屋中にいい匂いが満ちて美味しそう。何よりも、作業をしていると、「大豆のいのちを私たちがいただく」ことに、ただただ感謝の気持ちでいっぱいになるのです。

ただみそを造ればよいのではなく、仲間と協力し、子どもたちが「五感を使うこと」を重視しています。

豆の香り、麴の感触、すりこぎで豆をつぶす力加減…。一つ一つの過程を丁寧に行いながら、毎年参加して手順が分かっている子は、初めての子に教えてあげます。

ゆっくり、じっくり、そして手際よく、大豆6kg、麴6kg、塩3kgを、大豆の煮汁で混ぜ合わせ、合計30kg！約1年分の手作り味噌の仕込みが終了しました。

みんなで協力して楽しく働き、予定時間ピッタリに作業終了！子どもたちの表情は、なんとも充実感でいっぱいでした。

来年の出来上がりが、楽しみだね！



◎療育シーン（幼児編）◎

澄み切った青空、新鮮なおいしい空気、真っ白な雪…。

素晴らしい環境で全身を使い、ほっぺたを真っ赤にして遊びこみ、輝く笑顔と笑い声…すべてが最高！冬の寒さなんてへっちゃら！とばかりに、足腰を鍛え、体力づくりを楽しむ子どもたちです。

雪道を歩くのが苦手だった子も、広々した斜面をソリですべる楽しさを知ってからは、自分からどんどん歩いて、何度も坂をのぼり降りするようになりました。楽しい経験が、苦手なことを克服し、可能性を広げていくのがよくわかります。



「おすしできましたよー」「これかして」「いいよ」室内では、ママごと遊びで色の識別や数の概念を学ぶとともに、会話を通して言葉を獲得し、物の貸し借りをするなど、自分の気持ちと相手の気持ちを考えながら行動する経験を積み重ねています。

また、ハサミやノリを使っておひなさま作りをしたり、描画、絵の具遊びを楽しむときには、あっという間にママやパパの顔、庭のぞうさんなど身近な存在を描くなど、日々の積み重ねが、一瞬にして芽吹くさまを目の当たりにすると、私たちスタッフも、喜びいっぱい、幸せいっぱいです。



これから小学一年生になるお友だち、幼稚園や保育園へ通所するお友だちもいるけれど、ずーっと仲間でいようね！



◎療育シーン（午後編）◎

知人から作り方を教えてもらい、出来上がった雪のおうち、『イグルー』。

ご近所の玄関先に積もった雪をいただくなどして、大量の雪集めをしました。そのお宅からも喜ばれ、自分たちも楽しみながら役に立つことができ、とても良い経験となりました。



コンテナに雪をつめて根気強く踏み固め、一晩寝かせてブロックが完成。それをたくさん積み上げて出来上がったその姿は、まるでお城のよう。風も入ってこないの、寒さをしのぎながら中で飲んだココアは、2倍も3倍もおいしかったです。



そんなイグルーは、みんなの宝物のような存在となり、雪中運動会の拠点になったり、鬼ごっこの基地になったりと大活躍！毎日毎日楽しませてもらいました。

春近しで、雪解けと共に崩れる危険性があるため、記念撮影をしたあとは、解体しました。また来年も作ろうね！

そのほか、淳ノ介君がお父さんと一緒にキュウリをたくさん釣ってきてくれました。「本当に、キュウリのおいがする！」実際にはおいをかいてみてビックリ！塩をして干し、うまみがアップしたところで、炭焼きに。魚の命を頂くのはもちろん、食べられるまでに携わったすべての人にも感謝しながら、頂きました。



そして先日、日本財団からの助成を受けて、いっばに新しい送迎車がやってきました。近所の南豪神社にて、交通安全祈願をしてきました。竹中宮司さんに「車の名前は？」と聞かれ、とっさに、その場にいたお友だちが考えたのは「スマイル号」。ステキな名前がつけました。早速、日本財団のみなさんにお礼のお手紙を書きました。みんなの優しい気持ちが届きますように！